

# 地球に笑顔

グループ全体で環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、豊かな地球環境と未来の笑顔を守ります。



「地球に笑顔」への取り組みの詳細につきましては、下記アドレスからご覧いただけます。

<https://www.maruchan.co.jp/csr/environment/index.html>



静岡県賀茂郡西伊豆町田子地域での稚魚放流活動の様子

## 主な取り組み 環境対応の推進

- 01 気候変動への対応
- 02 生物多様性の保全
- 03 水資源の保全

### 気候変動への対応

#### 環境マネジメント体制の強化と環境目標

事業活動による環境負荷を低減するためにISO14001など環境マネジメントシステムに関する第三者機関による認証取得を推進しています。また、内部監査員資格を持つ社員で構成されたチームによる定期的な監査を実施しています。特に気候変動の大きな要因となる地球温暖化に関連する環境負荷の低減を重要な課題の一つと捉えており、方針に基づいた目標を設定し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

#### 2030年度東洋水産グループ環境目標

- CO<sub>2</sub> 排出量 (原単位) ..... 20%削減
- 産業廃棄物量 (原単位) ..... 15%削減
- 産業廃棄物の再資源化率 ..... 99.5%維持
- フロン漏洩量 (CO<sub>2</sub> 換算) ..... 85%削減
- 水使用量 (原単位) ..... 10%削減
- 認証パーム油への代替 ..... 100%
- 主要取扱魚種 (魚卵・鮭鱒・海老) のMSC等漁業認証原料取扱い ..... 70%

※対象は国内グループ全体  
※原単位は国内連結売上高を基準として算出  
※削減目標については2018年度比

### CO<sub>2</sub> 排出量削減への取り組み

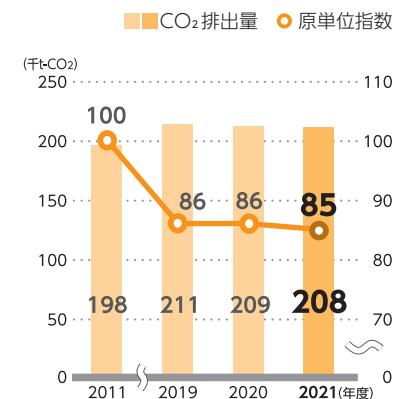
CO<sub>2</sub> 排出量削減に向け、各工場や冷蔵庫の設備面では、ボイラー燃料の重油から天然ガスへの転換、フロン冷媒から自然冷媒 (アンモニア・CO<sub>2</sub>) への更新、省エネタイプの高効率機器の導入やLED照明への切り替えなどを実施しています。また、一部事業所ではバイオマス発電や太陽光発電で作られた電力などの再生可能エネルギーを利用しています。運用面では、製造機器や冷凍機の効率的な運転や点検の強化を行っています。2021年度には、関東工場と埼玉工場にて専門家による省エネ診断を実施しました。

物流面では、モーダルシフトの推進、需給予測精度の向上などに取り組んでいます。



関東工場の太陽光発電パネル

#### ● CO<sub>2</sub> 排出量と売上高原単位



排出量は各事業所での省エネ推進や冷蔵庫の冷凍機設備更新、物流での船便の活用等によりやや減少し、原単位も改善されました。

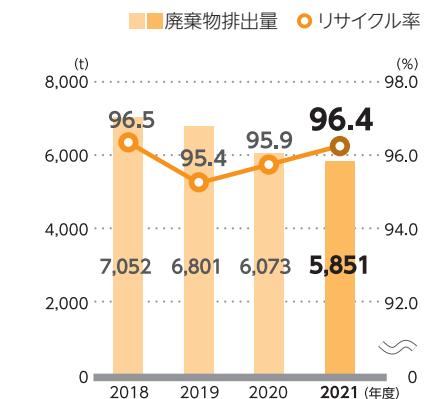
#### ● 産業廃棄物排出量と再資源化率



排出量は各工場での歩留り向上や一部工場での汚泥肥料化の取り組みにより減少し、再資源化率は99.9%と高水準を維持しました。

#### ● 食品廃棄物の排出量とリサイクル率

(東洋水産(株)単体)



排出量は各工場での製造ロス削減推進に加え、一部工場での麺残渣の処理方法変更等により減少し、リサイクル率は目標値95%以上を維持しています。

環境負荷データ (グループ全体)



※ 物流は、省エネ法 (特定荷主) における東洋水産 (株) 単体の適用範囲より算定

生物多様性の保全

東洋水産グループの創業は水産事業からであり、海洋資源の保全は重要な使命の一つだと考えています。水産資源保全と海洋環境保全を目的として漁業管理されたMSC・ASC認証原料を取り扱っています。他にも、日本の自然・産業・食文化を反映した「日本発世界に認められる水産エコラベル」を目指すマリン・エコラベル・ジャパンに加盟しています。また、水産資源の保護・育成と水産業や観光業における地域活性化を目的とした稚魚の放流活動やウナギの完全養殖の量

産・事業化の研究を行っています。その他、関東工場では、工場周辺の地域の生物多様性の保全を目的とした「ビオトープ」を設けています。専門家のご指導のもと、自生している絶滅危惧種の「マツカサススキ」や「チョウジソウ」「フジバカマ」の苗をお預かりし、大切に育てています。

「ウナギの研究活動」については、下記のアドレスからもご確認いただけます。  
<https://www.maruchan.co.jp/csr/society/unagi.html>



水資源の保全

「水」は東洋水産グループの事業に欠かすことのできない大切な資源です。持続可能な水資源利用は、環境対応の推進における取り組むべき重要な課題の一つだと考えています。

東洋水産グループの各工場では、水の使用量や排水量を継続的に管理するとともに、工場における水の再利用の促進や、雨水をトイレの洗浄水に利用するなどして水の使用量の削減に努めています。また、工場からの排水を微生物処理により浄化して放流する他、事

業所近隣の河川の清掃活動なども行っています。



埼玉工場から出る排水の放流先流域の池